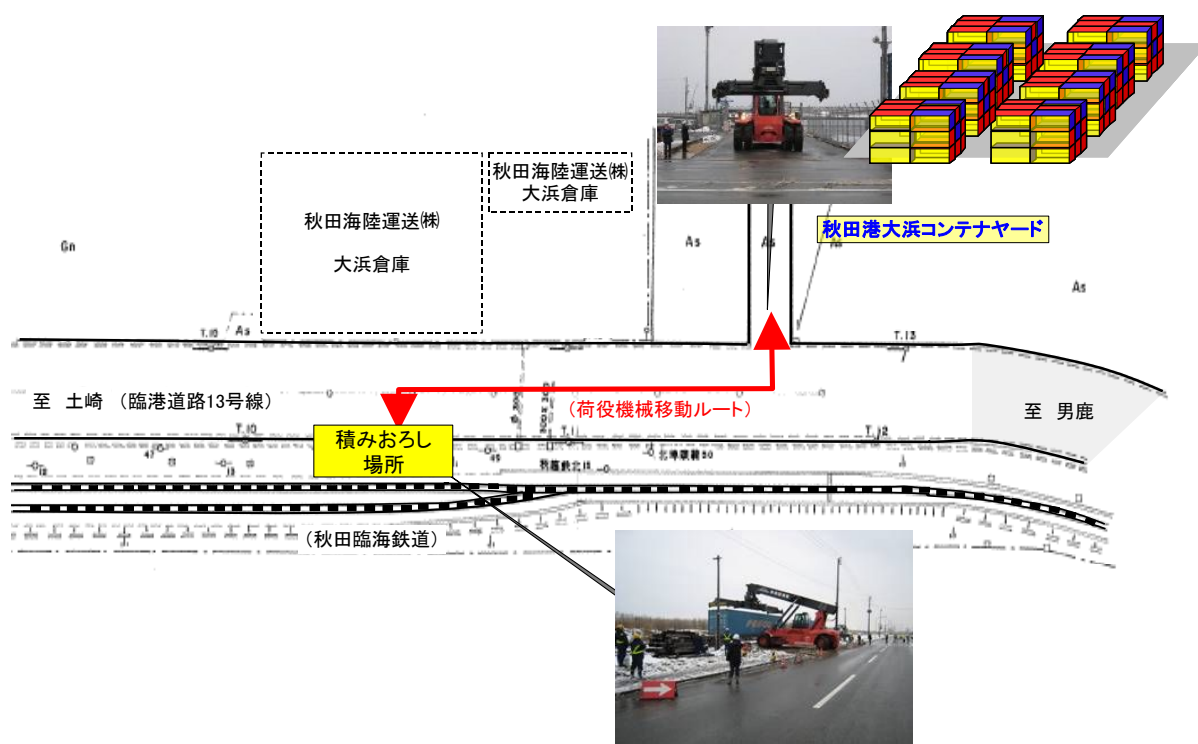


⑤積みおろし作業の流れ

秋田北港駅～大浜コンテナヤード間でのコンテナの積みおろしに関しては、以下のような手順で行った。

【荷役時のリーチスタッカーの導線】



【コンテナヤードから臨港道路への出口で待機】



【臨港道路へ進入①】



【臨港道路へ進入②】



【臨港道路を積みおろし場所へ向かうリーチスタッカー】



【積みおろし開始直前のリーチスタッカー】



【リーチスタッカーによる積みおろし開始】



【40 フィートコンテナを掴んで臨港道路へ】



【40 フィートコンテナを掴んだまま臨港道路をコンテナヤードへ後進①】



【40 フィートコンテナを掴んだまま臨港道路をコンテナヤードへ後進②】



【40 フィートコンテナを掴んだまま臨港道路をコンテナヤードへ後進③】



【バックのままコンテナヤードへ後進①】



【バックのままコンテナヤードへ後進②】



【ゲートからヤード内に入る際、フェンスを越えるためにリーチを上げる】

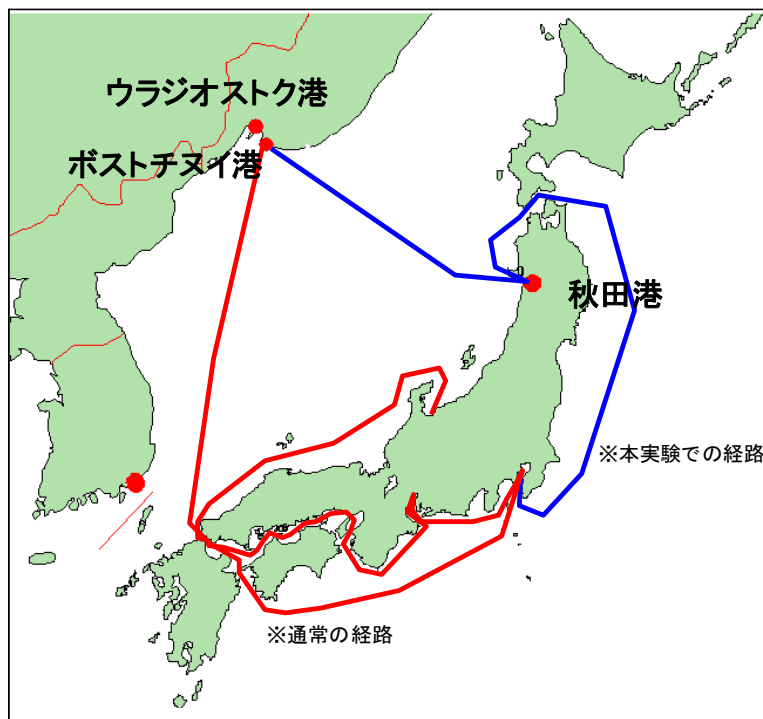


【コンテナヤード内にコンテナ搬入完了】



⑥コンテナ船への本船荷役

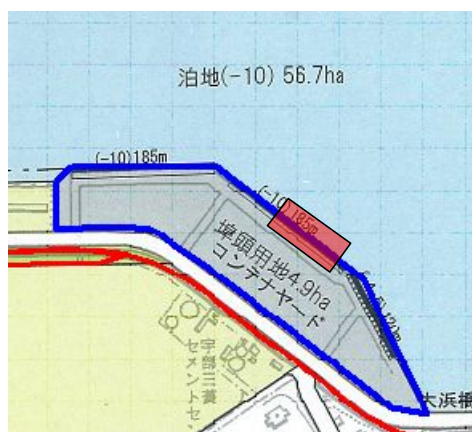
実験に利用した航路は FESCO 社の運航する航路で、通常の寄港地は伏木富山⇒北九州⇒ 神戸⇒名古屋⇒横浜⇒ポストチヌイであるが、今回は実験のために秋田港へ一時臨時寄港、横浜港出航後に秋田⇒ポストチヌイというルートで運航を行った。



船名： PRIMORYE MARU
船籍：シンガポール
船長：128m
船幅：21m
船速：14.8ノット
最大トン数：6,308GT
最大積載個数：423TEU
建造年：1977年
タイプ：フルコンテナ船

2月14日24時頃に横浜港を出港した FESCO 所有の PRIMORYE MARU は、17日10時半頃に秋田港へ臨時寄港、実験用の2本の40フィートコンテナを積み込んだ。

荷役作業は12分ほどで終了、11時50分にポストチヌイ港に向けて出港、18日21時頃にポストチヌイ港到着した。



【PRIMORYE MARU の入港】



【PRIMORYE MARU への本船荷役①】



【PRIMORYE MARU への本船荷役②】



【PRIMORYE MARU への本船荷役③】



【PRIMORYE MARU への本船荷役④】



【PRIMORYE MARU の出港①】



【PRIMORYE MARU の出港②】

